



第34回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

男子	令和6年2月17日	16:00 開始
準々決勝	香芝市総合体育館	D

◎ 報徳学園 (兵庫)	63	<table border="1"> <tr><td>19</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>19</td><td>2nd</td><td>8</td></tr> <tr><td>11</td><td>3rd</td><td>14</td></tr> <tr><td>14</td><td>4th</td><td>8</td></tr> </table>	19	1st	19	19	2nd	8	11	3rd	14	14	4th	8	49	近畿大学附属 (大阪)
19	1st	19														
19	2nd	8														
11	3rd	14														
14	4th	8														

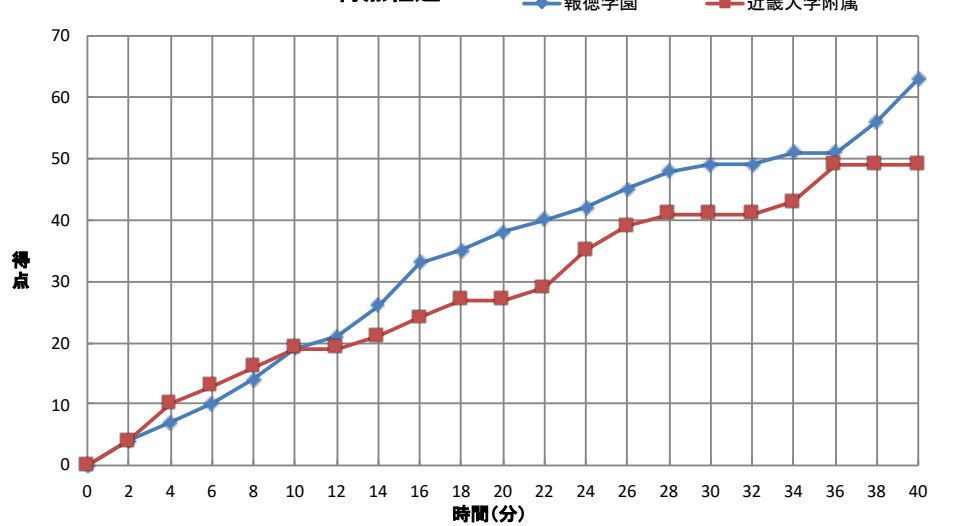
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則
* 2	宮菌 遼	20	4	4	0	1	* 1	西原 進登	2	0	1	0	3
* 4	杭田 悠吾	9	0	3	3	0	2	上野 鼓生	0	0	0	0	1
15	久保 晴熙	0	0	0	0	0	6	乾 怜史	-	-	-	-	-
19	田中 恭太	0	0	0	0	0	9	西川 悠征	0	0	0	0	4
* 21	福本 有都	13	1	3	4	3	10	藤並 琥太郎	-	-	-	-	-
6	へいワース 虹南	3	1	0	0	0	* 11	和氣 宥希	13	3	2	0	0
29	具志堅 好誠	-	-	-	-	-	13	柿本 鼓太郎	0	0	0	0	0
33	高岸 大空テオドル	-	-	-	-	-	* 14	吾妻 陽希	5	1	1	0	3
* 34	松本 晃瑠	9	0	4	1	1	18	岡田 大輝	-	-	-	-	-
35	宮城 健剛	0	0	0	0	0	* 21	濱野 歩	11	0	5	1	3
61	オルタッチ フェヒミ明	0	0	0	0	0	27	大森 仁碧	3	1	0	0	0
* 71	北村 優光	6	0	3	0	2	31	金城 大獅	-	-	-	-	-
72	寺尾 文太	-	-	-	-	-	51	鈴木 佑明	0	0	0	0	0
82	寺澤 煌月	3	1	0	0	2	59	松永 大和	-	-	-	-	-
86	林 舜晴	-	-	-	-	-	* 73	山本 翔大	12	3	1	1	1
コーチ	田中 敬						コーチ	山本 悠真					
Aコーチ	更谷 知則						Aコーチ	大森 健史					
合計		63	7	17	8	9	合計		46	8	10	2	15

クルーチーフ: 那須 弘幸

1stアンパイア: 池嶋 一幸

2ndアンパイア: 石井 寛都

得点経過



TO	1・2Q		3・4Q		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	17:29	:	29:59.2	35:57	:	:	:	:
TeamB	15:20	19:49	36:14	39:04	:	:	:	:

〔戦評〕
 報徳学園(2)(4)(21)(34)、(71) 近畿大学附属(1)(11)(14)(21)(73)
 第1ピリオド、両チームともにマンツーマンでゲームスタート。報徳学園は(71)北村の鋭いドライブインからの合わせでシュートは放つが序盤並みに乗れない時間が続く。しかし、(21)福本のドライブ(82)寺澤の3Pと得点を重ねる。対して近畿大学附属は(21)濱野の力強いポストプレー、(11)和氣の3Pと中と外を使い分け序盤を制する。(11)和氣の3Pが決まり、19-19で同点で第1ピリオドが終了。
 第2ピリオド、(21)福本のレイアップ、(6)の3Pとディフェンスでリードを奪う。近大附属はメンバーを交代しプレスディフェンスやゾーンディフェンスで流れを掴もうとする。しかし、報徳学園は(6)の3Pで得点し流れを渡さない。近畿大学附属は(21)福本がゴール下で得点するも、報徳学園(34)松本の1on1、(2)宮菌の3P、(4)杭田の速攻で突き放し、31-21報徳学園10点リード近畿大学附属がタイムアウト。タイムアウト後、近畿大学附属は速い展開から(73)山本の3P、速攻からのバスケットカウントで1桁差に戻す。第2ピリオド終了間際、報徳学園(21)福本が3Pを決めて38-27報徳学園リードで前半を折り返す。
 第3ピリオド、近畿大学附属は(21)濱野のゴール下、(11)和氣の3Pや個人技で得点し点差を縮める。しかし報徳学園は(71)北村の1on1、(2)宮菌の3Pと負けじと得点し点差を戻す。近畿大学も粘り強くディフェンスを(11)和氣のドライブで7点差に詰める。終了間際、報徳学園(21)福本がフリースローも獲得し49-41、報徳学園8点リードで第3ピリオド終了。
 第4ピリオド、互いに2分間得点できない我慢の展開が続くが、報徳学園2番のドライブで得点する。近畿大学附属は(73)山本ゴール下、3Pで5点差に縮める。続けて(73)山本が3Pを沈めて2点差になったところで、報徳学園がタイムアウトを取る。タイムアウト後、近畿大学附属はメンバーを変えプレスディフェンスで仕掛けるも、報徳学園4番がシュートを決め4点差にする。その後は、報徳学園が、(34)松本がゴール下得点、(71)北村のシュート(2)宮菌の3Pで突き放し、63-49で報徳学園がベスト4進出を決めた。

戦評: 武村 拓

記録: 奈良商工高校